

『埼玉・市民ジャーナリズム講座』

第2回

今メディアは。

生活・文化から考える。

埼玉の地域、くらし、文化からジャーナリズムは。

第2回講座

4月12日(土)14時開会

埼玉トヨペット本社 3階会議室

JR 埼京線、北与野駅前。駐車場はありません。

公共交通機関をご利用ください。

参加費：500円・予約不要

講演

轡田隆史さん

(ジャーナリスト・元朝日新聞顧問・さいたま市在住)

コーディネーター

門奈直樹さん



轡田隆史氏

さいたま市在住

元朝日新聞記者、国際ジャーナリスト。

社会部デスク、欧米諸国や中東地域での特派員を経た後、1980～1983年まで「BIG NEWS SHOW いま世界は」キャスター。1988年論説委員。1996年まで夕刊1面コラム『素粒子』を執筆し、度々自身の好物である豆腐料理と時事問題を絡めた文章で知られるようになる。「ニュースステーション」「スーパーJチャンネル」のコメンテーターを務める。



埼玉トヨペット本社

埼玉県さいたま市中央区上落合2丁目2番1号
TEL 048-859-4141

コーディネーター



門奈直樹氏

ソーシャル・マネジメント学科教授。専門は、ジャーナリズム、マスコミュニケーション論、危機管理とマスメディア。とくにイギリスのメディア研究、放送制度、メディア政策に詳しい。

著書に『現代の戦争報道』(岩波新書, 2004年)『民衆ジャーナリズムの歴史—自由民権から占領下沖縄まで』(講談社学術文庫 2001年)『ジャーナリズムの科学』(有斐閣選書 2001年)など

埼玉新聞サポーターズクラブ
日本機関紙協会埼玉県本部
NPO法人 埼玉情報センター
さきたま新聞

【連絡先】

埼玉新聞社・文化部 佐藤達哉
電話048(653)9027
FAX048(653)9028

市民参加のジャーナリズムをめざすー

『埼玉・市民ジャーナリズム講座』開講の呼びかけ

埼玉新聞サポーターズクラブ
日本機関紙協会埼玉県本部
NPO法人 埼玉情報センター
さきたま新聞
【連絡先】
埼玉新聞社・文化部 佐藤達哉
電話048(653)9027
FAX048(653)9028

このたび私たちは、埼玉県内を中心とする各界のジャーナリスト、有識者、文化人の方々とともに、市民参加の“メディアの役割、ジャーナリズムと地域文化を考える”定期的な『埼玉・市民ジャーナリズム講座』を開講したいと考え、皆さまにご理解とご協力を呼びかけるものです。この企画は、地元・地方紙「埼玉新聞」の紙面協力のもとに、次の主旨と要項でおこないたいと思います。

近年、メディア、ジャーナリズムの在り方をめぐり、さまざまな声が高まっています。それは、権力との癒（ゆ）着、権力に対する鋭い批判の欠如、事件の容疑者や加害者に対する激しいバッシング、記事のねつ造や盗用の不祥事などが要因となっています。さらに2011年3月の福島第1原発事故発生以降、政府や企業による情報が一方的に報道され、国民に誤った情報が伝えられたことがメディア不信に拍車をかけました。私たち市民にとっても、情報を的確に判断し、対処することができるメディアリテラシーを育てることが求められています。

メディアは「社会の公器」です。国民の「知る権利」を保

障するジャーナリズムの担い手として重大な使命があります。権力へのチェック機能を果たしながら、主権者である国民、読者とともにさまざまな悩み、苦しみを共有し、「正確で公正な記事と責任ある論評」（新聞倫理綱領）によって、「豊かで平和な未来のために力を尽くす」（同）ことが求められています。

今こそメディアは、ジャーナリズムの精神に立ち返り、公共的、文化的使命を果たしてほしいと願っています。

また、埼玉県には古くから独自の歴史と文化があります。この埼玉という地域がより一層活性化、発展するためには、地域に根ざした多様で市民に開かれたメディアの存在と活躍が不可欠です。

今一度、多くの方々と、メディア、ジャーナリズム、メディアリテラシー、地域文化の育成、地域活性化などのさまざまな課題を、この『埼玉・市民ジャーナリズム講座』の場を通じて共に考え、情報発信していきたいと考えています。ぜひ、皆さまのご参加・ご協力をお願いいたします。

埼玉・市民ジャーナリズム講座要項

- ① 2014年3月から、月1回第2土曜日(午後2時～4時)。会場は、JR埼京線北与野駅前の埼玉トヨペット本社(協賛・協力)会議室を主会場に、定期的連続講座とする。
- ② 埼玉県内の各界、ジャーナリスト、有識者、文化人などの講師による講演(70分)と参加者・市民によるフリー討論・交流(30分)とする。告知・PR・記録などは各団体から、および埼玉新聞紙上でも取り上げる。
- ③ 講座参加費は500円とする。
- ④ 講師依頼予定者(1月20日現在、第1次分、五十音順)
アーサー・ビナード(詩人)、五十嵐暁郎(立教大学名誉教授)、嚮田隆史(ジャーナリスト、元朝日新聞顧問)、金子兜太(俳人)、金子勝(立正大学教授)、姜尚中(聖学院大学全学教授)、北村肇(週刊金曜日発行人)、杉田明宏(大東文化大学教授)、竹信恵子(和光大学教授、元朝日新聞記者)、野中章弘(アジアプレス)、藤田昌士(元立教大学教授)、藤田博司(ジャーナリスト、元共同通信)、符祝慧(連合通信)、むのたけじ(ジャーナリスト)、森永卓郎(獨協大学教授)、門奈直樹(立教大学名誉教授)
- ⑤ 協賛・協力団体、企業なども募る。
協力・埼玉トヨペット、埼玉新聞社
- ⑥ 呼びかけ4団体で運営のための事務局を設ける。

■年間講座日

- ②4月12日、③5月10日、④6月14日、⑤7月12日、⑥8月9日、⑦9月13日、
⑧10月11日、⑨11月8日、⑩12月13日、⑪2015年1月10日、⑫2月14日、⑬3月14日